# 耳鼻咽喉科ニューロサイエンス研究会誌への投稿規定

1．全般事項

1）本会誌は、該当年度の本研究会で発表頂いた演題に関係する論文（総説、原著、症例報告）を中心に掲載する。二重投稿および同時投稿を避ける場合は、抄録を提出する。

2）原稿送付用 e-mail アドレス（各年度の主催施設事務局）宛に添付ファイルとして投稿する。原則、原稿締切は例年の11月末日とする。

3）論文の本文は文献、図表〔図、表は 1 枚を原稿用紙 4 枚分（1 頁）として計算〕を含め、800字×20枚以内、論文の図表（カラー可）は10枚以内、文献数は30件までとする。

4）抄録の場合は400－800字とし、文献数は 5 件までとする。

5）図表の転載：原稿に記載される図表が他の出版物からの転載である場合には、必ず当該出版元より転載許諾を得た上で出典を明記すること。また、自身が著者である出版物についても同様に対応すること。

2．原稿について

1）原稿はＡ4 サイズで、ワードプロセッサで作成する。本文（図の説明、表を含む）は11ポイントの大きさで、標準的なフォント（MS 明朝、MS ゴシックなど）を使用し、ダブルスペースで作成する。この際、頁数を必ず記載する。図は原則、Power point あるいは TIFF で作成し、そのまま印刷できるような明確なものを作成する。用語は日本耳鼻咽喉科学会発刊の耳鼻咽喉科学用語集を参考にする。
（http://www.jibika.or.jp/members/publish/yougo/index.html）

2）現代かなづかいを用い、外国人名、和訳しにくい用語のほかは日本語とする。

3）原稿の第 1 ページ目はタイトルページとし、下記の 7 項目について明記すること。1．論文タイトル 2．日本語キーワード（3～5 語）3．著者名 4．所属 5．連絡先（郵便番号，住所，所属名，電話・Fax 番号）※別刷請求先を他の住所にしたい場合は、その住所も記載。タイトルページに続いて、本文、文献、図の説明、表、図の順とする。

4）文献は本文での引用順に番号を付す。著者名は 3 名まで記し、それ以上の場合は「，他」「, et al」を用いて省略する。欧文誌の略称は Index Medicus に準じる。電子文献については、著者名：題名．雑誌名 発行年；巻数：頁（あるいは論文番号）（入手先の URL や DOI などを記述してもよい）を記載する。Web ページを文献に記載する場合、著者名：Web ページの題名．Web サイトの名称（著者名と同じ場合は省略してもよい），入手先，参照日付を記載する。なお会議録は文献に含めない。

・原著

森田真也，古田 康，本間明宏，他：頸動脈小体腫瘍症例における術前栄養血管塞栓術および術後合併症の検討．日耳鼻 2008; 111: 96-101.

Heinrich UR, Fischer I, Brieger J, et al: Ascorbic acid reduces noise-induced nitric oxide production in the guinea pig ear. Laryngoscope 2008; 118: 837-42.

・著書

吉原俊雄：唾石 口腔・咽喉頭．耳鼻咽喉科・頭頸部手術アトラス，下巻．小松崎 篤 監，犬山征夫，本庄 巖，森山 寛 編，医学書院; 2000: 4-6頁.

Herrmann IF: Surgical voice rehabilitation after total laryngectomy. Head and Neck Surgery Vol. 3, Neck, Panje WR, Herberhold C (eds). Georg Thieme Verlag; 1998: pp 223-41.

・電子文献

Shimshek DR, Bus T, Kim J, et al: Enhanced odor discrimination and impaired olfactory memory by spatially controlled switch of AMPA receptors. PLoS Biol 2005; 3: e354. doi: 10.1371/journal.pbio.0030354.



Presented by Medical*Online

・Web ページ

日本鼻科学会：急性鼻副鼻腔炎診療ガイドライン．J-STAGE,

https ://www.jstage.jst.go.jp/article/jjrhi/49/ 2/49_2_143/_pdf，参照（2014-03-14）.

5）原稿作成に当たっては、その内容の倫理性に十分配慮する。人を対象とする医学系研究についてはヘルシンキ宣言を遵守するとともに、内容に応じてインフォームド・コンセントを明記する。また、個人情報保護法等に抵触しないように十分配慮する。症例報告においても、必要に応じて同様に対応する。患者または被験者の人権を損なうことのないよう十分な配慮が必要であり、外科関連学会協議会で定める「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を遵守し、個人情報保護に留意した記述をすること。

6）校正については著者校正とし、校正時に原稿（図表を含む）を変更することは、原則認められない。

7）原稿は、会誌（PDF）に掲載されるとともに、メディカルオンライン【医学文献検索サービス メディカルオンライン（medicalonline.jp）】にて公開される。

8）著作権について

本誌に掲載された論文の著作権は耳鼻咽喉科ニューロサイエンス研究会に帰属する。

以上

（PDF 版への移行のため2023年 4 月に改訂し、2023年度第 1 回世話人会で承認）



Presented by Medical*Online